

平成 29 年 10 月 20 日
日本政策金融公庫
福島支店・郡山支店

女性経営者による農業参入を支援 ～父の夢を引き継ぎ保育士から農業女子へ～

日本政策金融公庫（略称：日本公庫）福島支店農林水産事業及び郡山支店国民生活事業は、郡山市で野菜の水耕栽培事業に本格的に参入する有限会社光（代表取締役：柳田美華）に対し、事業立ち上げに必要な資金を、東邦銀行と協調して融資しました。

《ポイント》

○ 循環型産業の展開を目指し、水耕栽培事業へ参入

産業廃棄物の収集・運搬・中間処理業などを手掛ける株式会社柳田産業（代表取締役：柳田栄喜、美華さんの父）の関連会社である有限会社光は、水耕栽培による農業生産を開始します。

農業分野への挑戦は栄喜さんの長年の夢であり、これを引き継ぐために娘の美華さんは保育士の仕事を退職。平成 28 年から秋田県、宮城県、福島県磐梯町などで栽培技術・経営ノウハウに関する研修を重ね、「ふくしま農業女子ネットワーク」にも参画して他の農業者との交流も深めてきました。

平成 29 年 3 月には、郡山市の認定新規就農者となり、小ねぎ、小松菜など野菜の水耕栽培を本格的に開始しています。今後は、柳田産業の産業廃棄物中間処理で発生する木質チップを農業用ハウスの加温燃料に活用するなど、循環型農業にも取り組んでいきます。

○ 東邦銀行・日本公庫が連携して支援

日本公庫は、有限会社光の農業経営や地域貢献、栽培技術習得への意欲の高さなどから計画達成の見通しが高いことを評価し、水耕栽培施設建設など事業立ち上げに必要な資金について、日本公庫が 2,200 万円（農林水産事業の青年等就農資金 1,700 万円、国民生活事業の事業承継・集約・活性化支援資金 500 万円）、東邦銀行が 1,700 万円の融資を実行しました。

今後、5 年間で経営を軌道に乗せる計画を立てている有限会社光に対し、日本公庫は、郡山市や東邦銀行等の関係機関と連携しながら、新たな担い手としての育成・定着を後押しします。

※「ふくしま農業女子ネットワーク」は、新規就農者における女性の割合が年々増加していることや県内に点在する農業女子が相互に交流するため、福島県農林水産部農業担い手課が事務局となり、平成28年7月に設立されたものです。

企業・団体等との連携のもと、女性農業者の新たな活躍の場を創出・拡大し、女性農業者の活躍する姿を広くPRすることで、ネットワークの一層の認知度向上と活性化、さらに福島県の農業振興に貢献していく事を目的としております。

日本公庫福島支店農林水産事業も「ふくしま農業女子ネットワーク応援団」に登録し、女性ならではの視点に基づく、消費者ニーズを敏感に感じ取った商品開発、経営改善等の取組みを総合的にサポートしています。

【参考】 融資の概要

| | |
|------|-----------------------------------|
| 法人名 | 有限会社 光 |
| 住所 | 福島県郡山市逢瀬町 |
| 営農類型 | 施設野菜（小ねぎ、小松菜） |
| 事業内容 | 水耕栽培施設 約800㎡の建設、長期運転資金など |
| 融資金額 | 福島支店農林水産事業1,700万円、郡山支店国民生活事業500万円 |

